

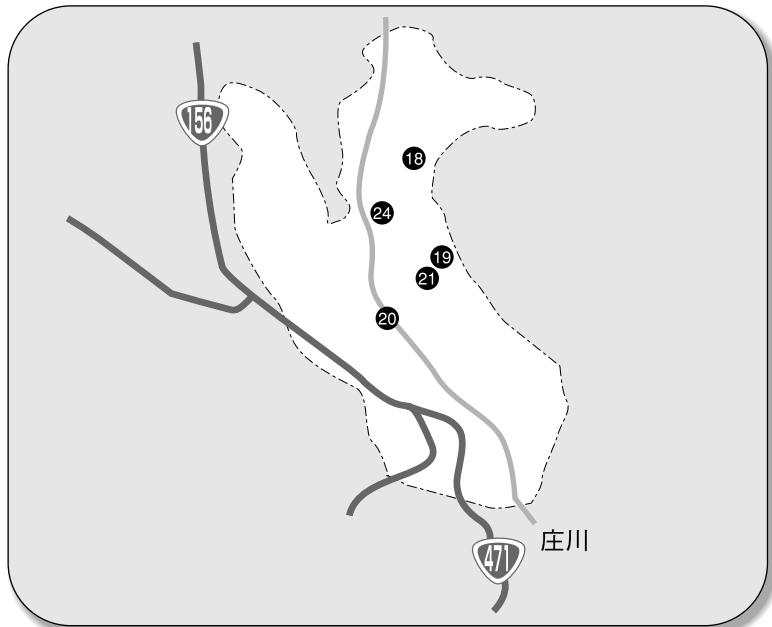
庄川町の文化財

No.
30

1 庄川町の文化財の特徴

庄川町は、美しい自然とその中に生きてきた祖先の歴史や尊い文化財に恵まれた地であり、文化財に深く秘められている、その時代の流れや人々の暮らし、文化・信仰などが根強い地域性を活かし、古い文化財が文明の進歩の礎として引き継がれ、脈々と現代に息づいている。

最近では、「国登録有形文化財」に該当する物件がないか模索しており、徐々に文化財に対する認識が高まりつつある。



庄川町記念物地図

2 記念物見て歩きガイド

「史跡 松原遺跡」

富山県を代表する縄文時代中期の遺跡であり、出土する土器は北陸地方の土器のほか、信州地方の土器の出土も認められ、非常にバラエティーに富んでいる。過去の調査からも大・小の竪穴住居跡や土偶などの学術的価値の高い資料が発見されている。



「史跡名勝 瓜裂清水」

杉谷山の庵から地方教化に出かけた綽如上人が、岩黒のこの地にしばらく休憩された際、馬の蹄が突然陥没し、その後から清水がこんこんと湧き出したと伝えられている。現在は、環境庁が選定した全国名水百選にも選定され、町内外から沢山の方が水を汲みに訪れる。





「天然記念物」

庄川のエドヒガン桜自生地

3月下旬から4月にかけ、小牧発電所対岸から下流の弁財天対岸までの庄川右岸及び松川除一番堤防に百本余りのエドヒガン桜が自生する。県内には自生地が少ないが、本州中西部に多く自生する品種である。

「天然記念物」

名ヶ原貝化石包藏層

庄川町名ヶ原から西山林道を舟戸ダム上部へ行く途中、道路脇に、アカガイなど多種の貝化石を見ることができる。この貝化石包藏層の化石群から、この地層が堆積した当時の海の状態や、深さ、海水の温度など推定することができる。

「名勝 弁財天とやぶ椿」

弁才天は、別名「元雄神神社」とも言い、庄川流域の農家を庄川の洪水から守る水神として、現在も流域の人々の崇敬を集めている。三十三年に一度、御開帳が行われ、数十万人の参拝者が集まり、賑わいを見せている。

この弁才天社敷地には、大株のやぶ椿の群生が見られ、春には濃い緑の中に可愛い赤い椿の花が咲き誇る。

3

庄川町の文化財一覧

番号	指定別	種 別	名 称	員数	所 在 地	所有者又は管理者	指定月日
1	町	彫 刻	鉢 伏 の 不 動 明 王 石 像	1	庄川町 庄隠尾	鉢伏不動明王奉賛会	昭62.3.30
2	〃	〃	木 造 阿 弥 陀 如 来 立 像	1	〃 金屋	研明寺	〃
3	〃	〃	木 造 阿 弥 陀 如 来 立 像	1	〃 青島	勸帰寺	〃
4	〃	古文書	慶 長 の 物 成	1	〃 隠尾	南部正信	〃
5	〃	考古資料	松 原 遺 跡 出 土 品	15点	〃 青島	但田勇一	昭62.3.30
6	〃	有形民俗資料	岩 黒 の 不 吹 堂	1	〃 金屋	示野新村総代	〃
7	〃	無形民俗資料	五 ケ 種 チ ョ ン ガ レ 踊 り	1	〃 五ヶ	五ヶ種チヨンガレ保存会	〃
8	〃	史 跡	壇 城 跡	1	〃 庄	有沢信一外	〃
9	〃	〃	宗 半 塚	1	〃 庄	金剛寺区長	〃
10	〃	〃	西 行 歌 碑 と 西 行 塚	1	〃 三谷	三谷区長	〃
11	〃	〃	川 合 と よ 女 碑	1	〃 三谷	〃	〃
12	〃	〃	隠 尾 館 跡	1	〃 隠尾	南部正信	〃
13	〃	〃	二 万 七 千 石 用 水 水 取 入 口 跡	1	〃 金屋	二万石用水組合等共有	〃
14	〃	〃	御 上 様 塚	1	〃 〃	西野区長	〃
15	〃	〃	松 原 遺 跡	1	〃 示野	庄川町	〃
16	〃	〃	牛 瀬 車 道 開 通 記 念 碑	1	〃 金屋牧字尾谷山	〃	平6.5.30
17	〃	〃	金 屋 神 明 宮 跡 地	29m ²	〃 金屋	金屋神明宮代表役員	平10.8.14
18	〃	史跡天然記念物	恩 光 寺 跡 と 二 本 杉	1	〃 庄	金剛寺区長	〃
19	〃	天然記念物	隠 尾 八 幡 宮 の 大 杉 と 社 叢	1	〃 隠尾	隠尾八幡宮総代	〃
20	〃	〃	庄 川 の エ ド ヒ ガ ネ 桜 自 生 地	1	〃 庄	庄川町	〃
21	〃	〃	名 ケ 原 貝 化 石 包 藏 層	1	〃 名ヶ原	〃	昭62.3.30
22	〃	史跡名勝	瓜 裂 清 水	1	〃 金屋	〃	〃
23	〃	〃	牛 瀬	1	〃 湯山等	〃	〃
24	〃	史跡名勝天然記念物	弁 財 天 と や ぶ 椿	1	〃 庄	雄神神社	〃

4

問い合わせ先等